



白河二中だより

NO. 10
2023. 6. 9
白河市立白河第二中学校
発行責任者 小野 聡

鈴木市長来校

5月31日（水）、白河市鈴木和夫市長が来校され、職員室や保健室、図書室等の南校舎を視察されました。

図書室では、9月の職場体験に向けて学習を進めている2年生に、「どのような職業を調べているの?」と話しかけられ、生徒も臆することなく、「家が飲食業なので〜」、「両親が薬剤師なので〜」と調べている職業とその理由について、適切に伝えることができました。



また、休み時間の3年5組の教室では、「次の授業は何?」、「数学は好きですか?」などと質問をされながら、会話を楽しまれているようでした。

さらに、中央階段の登り口にある学級新聞にも興味を示され、細かな文字で書かれた紙面を見て、「よく書かれているな。」と感嘆され、学級新聞のタイトルや記事の内容を見て、「素晴らしい!」との言葉も口にされていました。掲示委員会の中体連の応援コーナーでも足を止められ、「みんなで応援し合う姿がいいですね。」と、しばし見入られていました。



校舎視察ではありましたが、会話を通して子ども達のふれあいを一番に楽しんでいたようです。子どもたちにとっても貴重な時間を過ごさせていただきました。

新たな歴史のスタート

校舎建築に合わせて作られたプールは、50年使用してきた以前のプール同様25mの大きさですが、プールサイド南側にはコースロープを保管できるベンチや最新式のシャワーが設置されるなど、とても素晴らしい施設です。



3年生と水泳部員を中心に掃除を進め、きれいな水が満たされた31日（水）、生徒会役員と水泳部員による「プール開き」を行い、

今年度の安全祈願をしました。水は身近な存在ですが、ちょっとした悪ふざけや不注意で、命に関わるような事故にもつながりかねませんので、準備運動をしっかりと行い、担当教師の指示をしっかりと守らせて学習を進めていきたいと思ひます。



安全な通学を

5月26日に、不審者の侵入を想定した訓練を行いました。前日の25日には長野県の小学校の校地内に不審者が侵入し、児童に液体をかけ逃走する事件があったように、本校においても、同様の事件が起こらないとは限りません。昨年度も県内において声かけ事案が186件（県中・県南では47件）も起こっています。できる限り複数で、そして、明るい場所を帰るなど、自分達でできることを考えていかなければならないと思ひます。ご家庭でも帰宅時の対応などご確認ください。

なお、迎え時の車の渋滞が近隣の住民の方にご迷惑をおかけすることもありますので、ご配慮くださいますようお願い致します。